

神奈川大学派遣交換留学生 近況報告書（初回）

所属	経済学部	現代ビジネス学科	学科 専攻
派遣先大学 (国)	パデュー大学ノースウェスト校 (アメリカ)		
所属プログラム・ 学部・研究科	English Language Program		
報告書提出日	2019年8月23日		
留学予定期間	2019年8月～2020年5月		

1. 渡航について

1.1. 出発前の準備

出願料・宿舎デポジット： 220 (ドル) /合計

航空券代： 252,670 (円) /合計

ビザ申請関連費： 180 (ドル) /合計

その他 (): () /合計

ビザ取得の際に残高証明書は必要でしたか？ はい いいえ

「はい」の場合、いくらの残高証明書を作成しましたか？ 3,727,464 (円) /合計

4月初旬：パスポートを作成。

5月下旬：入学許可証が大学から届き、要求事項の準備を進める。2,3日後に残高証明書を作成。

6月初旬：航空券を予約。

7月初旬：1回目の予防接種。VISAの申請をしにアメリカ大使館を訪問。

7月中旬：歯の治療終了。

8月上旬：2回目の予防接種。

大抵、予防接種が2回必要で期間は1ヶ月かかるので、大学の案内が来てからだと遅いです。案内が来てからすぐに大学の要求する予防接種を確認し病院を予約したのですが、海外から取り寄せる必要のあるワクチンがあり全て終わったのが出発日の三日前でした。そのため、寮の予約が完了する前に渡航日を迎えました。最終的に寮に入ることはできましたが、早めの予防接種をお勧めします。

1.2. 渡航について

成田国際空港から直行便でシカゴまで向かいました。

移動手段は pick-up をお願いしていたので、費用はかからず車で移動しました。

空港から寮までは約1時間かかりました。

2. 到着後の手続きについて

2.1. 寮・ホームステイ等への入居手続き

予防接種の件で寮の予約ができていなかったため、入るのに時間がかかりました。寮に関するメールのやり取りを見せて受け入れてもらうことが出来ました。その際に個人情報の記入や施設の状態に関する書類の記入をしました。デポジットは事前に大学の専用アカウントに支払っていた為、現地では払いませんでした。

2.2. 滞在許可・外国人登録の手続き

大学で immigration check-in をしました。その際にパソコンでパスポートの情報を入力し、保険の証明書のコピーを渡しました。

入寮した3日後に在留届をオンラインで提出しました。必要事項を記入するだけですぐ完了しました。

2.3. オリエンテーション・学生登録・プレイスメントテスト等の学内手続き

8月13日：Placement Testingを受けました。内容は Writing が1時間で2題(その内1題が essay)あり、次にパソコンルームに移動して Reading と Listening の問題を解きました。Reading と Listening 合計45問の問題に対して1時間半設けられており、終わった人から退出という形式でした。最後に、interview 形式の Speaking Test を受けました。時間は約15分、1対1で行いました。質問の内容は様々でしたが、主に自分のことについて聞かれました。それに加えて、picture の説明問題が1題出されました。Speaking Test の待ち時間は用意されたお菓子などを食べたりして、各々自由に過ごしました。Placement Testing の後は、自由参加の Campus Tour があり、授業で使う教室なども案内してくれました。

8月14日：new international student orientation

8月15日：welcome picnic

8月16日：ELP orientation 時間割の配布。

3. 目標について

3.1. 留学の目的、達成目標

TOEFL iBT90点を目指します。そのためにも予習や復習などの座学だけでなく、ルームメイトや留学先でできた日本以外の国籍の友達と話す時間を多く取ったり、外出の機会を増やして私生活でも英語に触れるようにします。帰国する時には、ネイティブの人の発言を十分に理解し自分の言いたいことを難なく伝えられるようになりたいです。

3.2. これまでの学習・研修目標および達成度について

日本では、Reading ばかり勉強していた為、Listening と Speaking の能力が以前よりも落ちてしまいました。この2つの能力不足は現地に到着してすぐ痛感しましたし、もちろん授業にも影響してくるので日本でもっと勉強しておけば良かったと後悔しています。特に語彙力の不足を実感したので、授業の予習復習とは別に単語の暗記やわからない単語を放置せず予測してから調べる癖をつけようと思います。また、授業に慣れてきたら本を読むなどして授業で履修していない reading の能力も上げていきたいです。

3.3. 今月の学習・研修目標

English の授業は復習をメインに行います。Writing の授業も Listening/Speaking の授業も宿題が各週出るのですが、宿題は含めず毎回 1 時間は復習をしていこうと思います。また一回復習すれば良しとせず、定期的に過去の復習も行います。Economics の授業に関しては教授や生徒の英語が聞き取れず全く授業についていけないので、予習で授業の内容を 8 割以上理解してから出席するようにし復習も欠かさず行います。

4. 学修について

4.1. 授業時間割

現在の学期	前 学期
月	Writing(09:30~12:20), Survey Of Economics(14:00~15:15)
火	Listening/Speaking(09:30~12:20)
水	Writing(09:30~12:20), Survey Of Economics(14:00~15:15)
木	Listening/Speaking(09:30~12:20)
金	
土	
日	

4.2. 授業について

Writing : 初回はテスト。2 回目は gerunds and infinitives as object を学びました。十分理解できています。

Survey Of Economics : 初回はガイダンス。2 回目は opportunity costs について学びました。英語の授業とは違い、教授の話している内容を理解するのでさえ厳しい現状です。授業についていけるよう予習復習を頑張ります。

Listening/Speaking : 初回はテスト。2 回目の内容は urban challenges についてで、listening をする際のキーワードなどについて学びました。

4.3. 予習・復習・自習について

Writing : 次の授業で何をすることがわからないので、予習はしていません。復習は宿題も含めて 1~2 時間を目安に行っています。

Survey Of Economics : 2 回目の授業に対する予習は 4 時間以上行いました。それでも理解しきれないところはありますが、これを行わないと確実に授業についていけないです。復習は 1~2 時間を目安に行っています。

Listening/Speaking : Writing と同様の予習と復習を行なっています。

5. 生活について

5.1. 衣食住について

住居	学内寮（その他： ）
<p>衣服に関しては大型スーツケース 2 個に入るだけ夏服と冬服を持ってきたのに加え、大学内のショップで服も買えますし寮の洗濯機も 1 回 1 ドルで使えるので問題ありません。私はこれまで自炊を行なった経験がない為、冷凍食品や簡単に作れるものなどに頼っており 2 日に 1 回同じメニューを食べています。寮から一番近くのスーパーまでは歩いて 20 分くらいかかりますが、大学から出ているシャトルバスで大抵のところは行けるのでそこまで不便さは感じておりません。寮はルームメイトとシェアなので共同スペースの利用にはある程度気を遣っています。各部屋には机とベッドとタンスがあるだけです。そこまでストレスなく生活できます。</p>	

5.2. 課外活動について

<p>まだアメリカに来て 2 週間程しか経っていないので決まった休日の過ごし方はありませんが、友達とジムや学校主催の welcome party、tour、買い物に行ったりしています。ジムは設備が充実しており無料で利用できる為、定休日の日曜日以外毎日行っています。大学内には様々なサークルやボランティア団体がありますが私はどこにも所属していません。旅行は興味があるので、計画は建てていませんが長期休暇になったら行こうと考えています。</p>
--

5.3. 現在までの感想

<p>到着してすぐは寮についてのトラブルや日用品の不十分さ、わからないことの多さで不安になりましたが今はだいぶ慣れてきました。私生活に関しては友達もたくさんでき、英語で話す機会が取れていて充実しています。また、何もかもが新鮮で楽しいです。しかし、学習面に関しては自分の努力次第だと思いますが、いつ listening に慣れてくるのかなど不安です。</p>
--

以上

神奈川大学派遣交換留学生 近況報告書（11月）

所属	経済学部	現代ビジネス	学科 専攻
派遣先大学 (国)	パデュー大学 (アメリカ)		
所属プログラム・ 学部・研究科	English Language Program		
報告書提出日	2019年11月9日		

1. 目標について

1.1. 留学の目的、達成目標

就活や進学のために英語力を上げる。具体的には、不自由なくコミュニケーションを取れる英語力を身に付けることと TOEFL100 点に少しでも近付く。神奈川大学卒業後は MBA 取得のため海外の大学に進学する予定のため、アメリカの授業スタイルに慣れ、単位も取得する。また、様々な国の友達を作り、自分のコミュニティを広げる。

1.2. 先月の学習・研修目標および達成度について（反省とこれからの抱負を含む）

自分の決めたスケジュール通り、計画的に学習を行えた。アメリカの大学は宿題が多く出されるが、それらを後回しにせず可能であればその日の内にする事で、提出期限に追われる事もなく上手くタイムマネジメントをすることができた。これまでに授業内テストや中間テストが何度かあったが、それ程悪くない点数を取れている。しかし決していい点数とは言えないため、次回以降はより時間をかけ内容の良い準備を行う。

1.3. 今月の学習・研修目標

先月と同様、授業の課題はスケジュール通り学習を行えている。しかし、単語帳のペースが先月に比べると疎かになっているので修正をする。具体的な内容としては、朝と夜に自分で作成している単語帳を一周見返す。また、リスニング力を向上させるため通学の時間などを利用して TED を聞いているが、寝る前にも聞くようにする。

2. 学修について

2.1. 授業について

Writing : counter argument や essay の書き方を学んだ。授業の内容は問題なく理解できており、以前より高度な文章を書くことができるようになった。

Listening/Speaking : リスニング時のノートの取り方や問題を解くコツを学んだ。授業の内容は urban

challenges, protecting the wild, migration の3つで migration に関しては1人2~3分間のプレゼンテーションを行った。

Survey of Economics : 英語の授業と比べると内容は難しく授業の理解度も極めて低く感じる。復習なしでは到底理解できない。しかし、復習を何度も行った結果テストでは他の生徒より良い成績を取ることができた。授業では opportunity costs, supply & demand, elasticity, costs of production, perfect competition and monopoly について学んだ。

2.2. 予習・復習・自習について

Writing : 宿題が授業の内容と被っているため、復習は宿題以外行っていない。テストがある場合は1週間前くらいから範囲の総復習を行なっている。

Listening/Speaking : Writing と同様、宿題が授業の内容と被っている為、復習は宿題以外行っていない。テストがある場合は1週間前くらいから範囲の総復習を行っている。

Survey of Economics : 授業で使う資料が当日の朝にアップロードされるため予習はできない。復習は宿題の他に自己学習用の問題を何周もしている。英語の授業と違い内容が難しいので、テストの2週間前くらいから勉強を始め、テスト範囲をほぼ完璧に網羅できるまで何度も繰り返し復習を行っている。

2.3. 語学力について

留学生活初日と比較するとリスニングスキルとスピーキングスキルは上達している気はするが、そこまで大幅な変化は感じられない。プライベートでは日本人の友達と関わる機会はあまりなく、いつも日本人以外の友達という。そのため英語を使ってコミュニケーションを取る時間が多いが、リスニングスキルも含め、慣れるにはまだ時間と努力が必要であると感じる。一度で聞き取れず聞き返して理解できるというのが現状である。しかし、コミュニケーションに関しては、ボディランゲージなども使ってなんとか意思疎通を図れている。

3. 生活について

3.1. 衣食住について

住居	学内寮 (その他:)
----	-------------

当然だが、寮内に洗濯機と乾燥機があるため衣類に関しては困らない。必要であればシカゴで買う事もできる。しかし、今朝は3度と最近気温が急激に下がったため冬の服装が気がかりである。食料は大学の近くにあるスーパーで調達でき、大学内にもカフェテリアがあるため昼食はそこを利用している。シャトルバスも定時で出ているため困らない。自分は朝食以外いつも友達と食べており健康的にも問題なく、様々な国の食文化を知ることができた。また、食料がなくても Uber Eats があるので問題ない。寮は4人でルームシェアをしているがお互いの私生活には干渉しないので、問題なく勉強などに集中できる。

3.2. 課外活動について

休日は field trip という課外活動に参加したり、ジムや友達と出かけたりしている。宿題の量が多いという事もあり必然的に勉強の時間も取れており、友達とミーティングルームや部屋などでよく勉強を行っている。field trip は毎週金曜日であり美術館や科学博物館、アウトレットなど毎回違うところに行くので、予定がない週でも無料で休日を満喫でき、知見も広げることができる。それ以外にも大学の運動

部の活動が盛んなため、バスケやアメリカンフットボールの試合などもよく観戦しに行く。12月20日から26日までニューヨークに旅行に行く予定である。

3.3. 現在までの感想

とても充実した生活を過ごすことができている。2ヶ月経って感じたことは英語力向上には予想以上に時間がかかるということだ。留学する前に多くの知り合いからリスニングさえ慣れるには3～6ヶ月かかると思っていたが全くその通りで、現状を考えるとむしろそれ以上かかるのではないかとさえ思えてくる。将来的な悩みは大学卒業後、就職するか海外の大学院に進学するか悩んでいる。

以上

神奈川大学派遣交換留学生 近況報告書 (2月)

所属	経済学部	現代ビジネス	学科 専攻
派遣先大学 (国)	パデュー大学 (アメリカ合衆国)		
所属プログラム・ 学部・研究科	English Language Program		
報告書提出日	2020年3月4日		

1. 目標について

1.1. 留学の目的、達成目標

進学や就職活動の為に英語力を上げる。具体的には、不自由なくコミュニケーションを取れるだけの英語力を身につける事と TOEFL iBT 100 点に少しでも近づく。神奈川大学卒業後はパデュー大学に進学し MBA を取得したいと考えているので、アメリカの授業スタイルに慣れると共に単位も取得する。また、様々な国の友達を作り自分のコミュニティを広げる。

1.2. 先月の学習・研修目標および達成度について

自分の決めたスケジュール通り計画的に学習を行えた。各教科のレベルが秋semesterに比べてかなり上がった為、復習や宿題に費やす時間も増えたが、それらを後回しにせず決めた曜日に終わらせる事を心掛けたので提出期限に追われる事も無くうまくタイムマネジメントをする事が出来た。また、神奈川大学卒業後の進路の為に、TOEFL iBT や GMAT の勉強も行った。冬休みの間は GMAT の勉強に専念すると決めていたので、日本から教材を取り寄せ一冊やり切った。一周しただけでは十分ではないが、帰国前に TOEFL iBT 受験を考えているのでそれ以降 TOEFL iBT 対策に切り替えた。

1.3. 今月の学習・研修目標

授業の復習や宿題、TOEFL iBT の対策を行っている。授業のレベルが高い為、一教科の復習と宿題に3から4時間程かかっている。今期は合計で4教科履修している為、月曜から木曜の間に一教科ずつ行い残った時間を TOEFL iBT 対策に使っている。具体的には、授業後図書館で復習などを終わらせ、集中力が切れたら部屋に戻り勉強を再開している。図書館の閉館時間である午後10時まで勉強をする事もしばしばある。TOEFL iBT の対策には図書館にある参考書を利用している。

2. 学修について

2.1. 授業時間割

現在の学期	秋学期
月	Principles of Marketing (09:30-10:45), International Business (11:00-12:15), Introduction to Business (15:30-16:45)
火	Production and Operations Management (14:00-15:15)
水	Principles of Marketing (09:30-10:45), International Business (11:00-12:15), Introduction to Business (15:30-16:45)
木	
金	
土	
日	

2.2. 授業について

Principles of Marketing: マーケティングの基礎から社会や企業におけるマーケティングの役割などについて理解する事がクラスの目的である。具体的な内容は、Creating Customer Value and Engagement, Company and Marketing Strategy, Analyzing the Marketing Environment, Managing Marketing Information to Gain Customer Insights, Understanding Consumer Markets and Buyer Behavior, The Buyer Decision Process, Creating Value for Target Customers, Building Customer Value, Product Life-Cycle Strategies をこれまでに学習した。宿題や試験で満点近く取れているので十分理解していると言える。

International Business: 世界における自由貿易の重要性の理解と国際経済の問題に関する分析と解決を提案する能力を養う事がクラスの目的である。具体的な内容は、Globalization, National Differences in Political, Economic, and Legal Systems, National Differences in Economic Development, Differences in Culture, Ethics, Corporate Social Responsibility, and Sustainability, International Trade Theory, Government Policy and International Trade, Foreign Direct Investment をこれまでに学習した。宿題や試験で満点近く取れているので十分理解していると言える。

Introduction to Business: 経済の機能と企業での役割の理解、基本的な経済理論の理解などがクラスの目的である。具体的な内容は、Taking Risks and Marketing Profits within the Dynamic Business Environment, Understanding Economics and How It Affects Business, Doing Business in Global Markets, Demanding Ethical and Socially Responsible Behavior, How to Form a Business, Entrepreneurship and Starting a Small Business, Management and Leadership, Structuring Organizations for Today's Challenges, Production and Operations Management, Motivating Employees をこれまでに学習した。宿題や試験で満点近く取れているので十分理解していると言える。

Production and Operations Management: 生産性について理解し、なぜそれが組織や国にとって重要なのかを理解する事、専門的な計算方法の理解などがクラスの目的である。具体的な内容は、Competitiveness, Strategy, and Productivity, Forecasting, Product and Service Design, Strategic Capacity Planning for Products and Services, Process Selection and Facility Layout, Quality Control をこれまでに学習した。専門的な計算について不明な点があるが宿題や試験で満点近く取れているので十分理解していると言える。

2.3. 予習・復習・自習について

Principles of Marketing: 復習と宿題に 3 から 4 時間ほど割いている。時間がない事と授業中に内容が理解できる為、予習はしていない。各週に行う事は復習と宿題のみで、試験がある週に限って全体の復習を行っている。

International Business: 復習と宿題に 3 から 4 時間ほど割いている。時間がない事と授業中に内容が理解できる為、予習はしていない。各週に行う事は復習と宿題のみで、試験がある週に限って全体の復習を行っている。

Introduction to Business: 復習と宿題に 3 から 4 時間ほど割いている。時間がない事と授業中に内容が理解できる為、予習はしていない。各週に行う事は復習と宿題のみで、試験がある週に限って全体の復習を行っている。

Production and Operations Management: 復習と宿題に 3 から 4 時間ほど割いている。時間がない事と授業中に内容が理解できる為、予習はしていない。各週に行う事は復習と宿題のみで、試験がある週に限って全体の復習を行っている。

2.4. 語学力について

前学期と比較するとかなり上達したと感じている。授業中に教授が発言する内容も完璧ではないが大まかに理解する事が出来るようになり、以前より楽に授業について行けるようになった。また精読力も向上し、以前より早く正確に情報を得られるようになった。スピーキング能力に関しても同様に、素早く翻訳できない語彙もあるが、以前に比べて表現の幅や語彙力が向上したと感じている。これらは英語でのコミュニケーション能力を測る TOEFL iBT の対策を行っている結果だと考える。これらを実感出来るようになり英語学習に対するモチベーションが向上した。自分の目標とする点数が高いので、苦手とするリスニングの能力向上を目指し日々の努力を継続していく。

3. 生活について

3.1. 衣食住について

住居	学内寮（その他： ）
----	-----------------

前回の記述から変化はない。寮内に洗濯機と乾燥機があるため衣類に関しては困らない。必要であればシカゴで買う事もできる。冬の気温について心配していたが、対応できる防寒着を購入した為快適に過ごせている。食料は大学の近くにあるスーパーで調達でき、大学内にもカフェテリアがあるため昼食はそこを利用している。シャトルバスも定時で出ているため困らない。自分は朝食以外いつも友達と食べており健康的にも問題なく、様々な国の食文化を知ることができた。最近は自炊もするようになった。また、食料がなくても Uber Eats があるので問題ない。寮は 4 人でルームシェアをしているがお互いの私生活には干渉しないので、問題なく勉強などに集中できる。

3.2. 課外活動について

今学期は勉学のみ集中しており、課外活動には参加していない。昨年までは毎日ジムに行っていたが、今年になってからは数回行ったのみで、平日も休日も変わりなく図書館か部屋で勉強をしている。一月に一回の頻度で息抜きとして友達と外食に行っている。

3.3. 現在までの感想

とても充実した生活を送る事ができている。前学期を通してパデュー大学の MBA 入学という目標を立てる事が出来、以降その目標に対して段階的な計画を自分の中で立て、それに応じて日々を過ごす事が出来ている。入学基準が高いので達成できるか不安になる事もあるが、ポジティブに切り替え今できる事を全力で行う。アメリカで MBA を取得する際の平均的費用が 1000 万円とされているので、費用面に関して少し不安がある。

以上

神奈川県立大学派遣交換留学修了報告書

所 属	経済学部	学 科	現代ビジネス学科	4 年次
派遣先大学 (国)	パデュー大学 (アメリカ)			
所属プログラム・ 学部・研究科	English Language Program	履修言語	英語	
留学期間	2019年8月～2020年3月			
報告書提出日	2020年6月7日			

1. 学修について

1.1. 学期区分

学期	授業期間	試験期間	履修登録するまでの過程
Fall Semester	8月19日 ～12月7日 (16週)	12月9日 ～12月12日	留学準備段階では English Language Program のみの履修予定だったが、留学先に提出した TOEFL のスコアにより専門科目を追加で1つ履修できるようになったので、授業が始まる1週間ほど前に現地で履修登録をした。英語の授業は10日辺りに全体で実施された試験によりクラス分けがされ、各自での履修登録はなかった。
Spring Semester	1月13日 ～4月29日 (16週)	5月4日 ～5月8日	Fall Semester が終わり、1ヶ月程の休みの間にオンラインで履修登録を行った。この学期では全ての授業を専門科目で履修する事が許されたが、経済関連科目の履修には必須条件としてそれぞれの基礎にあたる授業の単位取得が要求されていた為、神奈川県立大学で取得した単位の証明書などを担当者に提出し履修を認めてもらった。

1.2. 履修科目・内容

学期	履修科目名	合計時間	履修内容・授業での取り組み
		(内訳)	
Fall Semester	Writing	85.33 時間	講義内容は授業の前半にグループワークなどを通して文法の学習を行い、後半に学んだ文法を用いてエッセイを書くというスタイル。中間試験・期末試験の内容は授業で学んだ文法の問題 1 時間と最低 5 段落のエッセイ問題 2 時間。宿題として毎授業エッセイ問題が出された。
		2.66(時間/回) ×2(回/週) ×16(週)	
Fall Semester	Listening/Speaking	85.33 時間	講義内容はクラス全体でリスニング問題を解き、その内容について小グループでディスカッションを行うのが基本。数週間に 1 回プレゼン発表などもあった。中間試験・期末試験の内容は要約問題なども含めたリスニング問題とその場で発表されるテーマについてペアとディスカッションするという内容。宿題はプレゼン作成などもあったが、リスニングが基本で TED の要約などが出された。
		2.66(時間/回) ×2(回/週) ×16(週)	
Fall Semester	Survey of Economics	40 時間	講義内容は配布されるレジュメに沿って経済用語などの説明があり、授業後半で計算問題などを解いた。中間試験は授業内容について 4 週間に一度授業内で行い、最後の期末試験では記述問題が 8 題出された。宿題については毎週教科書遵守の問題とテスト形式の問題をオンラインで行っていた。
		1.25(時間/回) ×2(回/週) ×16(週)	
Spring Semester	Principles of Marketing	時間	講義内容はマーケティングの基礎から社会や企業におけるマーケティングの役割など。中間試験・期末試験は宿題と同じ形式であり、毎回オンライン上で講義内容についての選択問題を 100 題解いた。期末試験とは別にファイナルプロジェクトで最低 8 ページのレポート課題も出された。
		1.25(時間/回) ×2(回/週) ×16(週)	
Spring Semester	International Business	時間	講義内容は世界における自由貿易の重要性と国際社会の問題に関する分析と解決など。その日のニュースなどをテーマにディスカッションなども行った。中間試験・期末試験は特になく、宿題で毎週教科書遵守の問題とテスト形式の問題を出された。
		1.25(時間/回) ×2(回/週) ×16(週)	
Spring Semester	Introduction to Business	時間	講義内容は経済の機能と企業での役割、基本的な経済理論など。中間試験・期末試験は宿題と同じ形式であり、毎回オンライン上で講義内容についての選択問題を 100 題解いた。期末試験とは別にファイナルプロジェクトで最低 2 ページのレポート課題も出された。
		1.25(時間/回) ×2(回/週) ×16(週)	

Spring Semester	Production and Operations Management	20 時間	講義では生産性の基本となぜそれが企業や国にとって重要なのかなどを学んだ。中間試験・期末試験は制限時間付きの問題をオンライン上で受けた。宿題については毎週教科書遵守の問題とテスト形式の問題をオンラインで行っていた。授業とは別にアプリを用いたマネジメントのシミュレーション課題が1セメスターを通して出された。
		1.25(時間/回) ×1(回/週) ×16(週)	

1.3. 学修する上で心がけていたこと、予習復習の仕方について

授業の内容も難しく量も多いので授業の復習はその日の内にほぼ完璧といえるまで行っていた。具体的にはそれぞれの授業の復習に宿題も含め3時間程度かけていた。どの授業も教科書の内容の問題をオンライン上で制限なく受けられたので、テスト前にはそれらを完璧に解けるまで何度も復習した。また、自力で解決できない問題はオフィスアワー中に教授に質問するようにしていた。

1.4. 語学力について

留学生活6ヶ月目頃から英語力の向上を実感し始めた。特に留学前と比べてリーディングとリスニングのスキルが向上した。1学期目は履修していた専門科目を授業内のみで理解する事は全くできず、教授の発言内容も早すぎて理解できなかった。しかし、2学期目に入ってから授業内容が難しくなったにも関わらず、教科書の精読をより早くできるようになり教授の発言内容も大まかに理解できるようになった。語学力を上げるための勉強として、授業とは別に TOEFL iBT の勉強と毎朝15分程ニュースを聞くようにしていた。これによって語彙力などが上がり、1学期と比べて楽に授業を受けられるようになった。

2. 留学の成果を振り返って

2.1. 学修の成果

ライティングの授業ではエッセイの基本構造から様々な表現方法を学んだので論文のような高度なエッセイを書けるようになった。語学力についての欄でも記入したが、語彙力がつき精読力が向上した為、留学前にはかなり難しく感じた TOEFL iBT のリーディング問題もまだまだ完璧ではないが8割程度解けるようになった。経済関連の授業では神奈川大学で既に学んだ事なども多く取り上げられていたが、マーケティングやマネジメントなど自分にとって新しいことも経済大国であるアメリカで学ぶ事ができて、神奈川大学卒業後は MBA 留学という新しい目標を見つける事ができた。

2.2. 学修面での反省点ならびに留学志望者へ学修面のアドバイス

アメリカでの生活や英語での授業などに慣れるのに時間がかかったということもあるが、1学期目から授業とは別に TOEFLiBT の勉強を始めるべきであった。留学当初は、アメリカで授業を受けて生活するだけで英語力がかなり向上すると考えていたが、半年程度では満足できる程伸びず、基礎固めに徹した自己学習の必要性を沸々と実感した。留学志望者は留学に行くだけで英語力が付くとは考えず、自己学習の時間もしっかり確保した方が良い。専門科目に関しては、難易度も量も英語の授業とは比べものにならないので、溜め込んでしまうと取り返しがつかなくなる。毎授業何時間もかかるかもしれないが、復習は欠かさず行った方が良い。

2.3. 留学生活で得られたもの

自分のネットワークが世界中に広がった事と政治への関心が強くなった事。これまで日本人の友達と政治について話す事などあまりなく、自分自身も政治のニュースを聞き流していたが、同年代の外国人の友達は自国の政治について詳しく、自分の考えを持っている人が大半であった。彼らの話を聞いて、政治に対して無関心や無知である事は恥ずべき事で、自分の選択肢を減らしているという事に気付く事ができた。また、今回の留学を通して神奈川大学卒業後にパデュー大学の MBA 進学という具体的な目標を立てる事ができた。そのおかげで今やるべき事が明確に見えるようになった。

2.4. 留学生活での反省点ならびに留学志望者へ生活面のアドバイス

留学期間中に旅行も含めもっと外出をすればよかったと後悔している。大学がシカゴの近くにあるので1ヶ月に数回はシカゴに遊びに行ったが、他の州などにも行けばよかった。秋semesterと春semesterの間の1ヶ月の長期休暇では1週間ニューヨークに行きクリスマスを楽しんだが、帰国してしまうとそんな旅行もしにくくなるので、各semesterにある1週間の休みを旅行に充てればよかった。通常授業の復習や試験対策などで忙しいと思うが、旅行でしか体験できないこともあれば2度と行く機会がない場所さえあるかもしれないので躊躇わず色々なところに出向いた方が良いと思う。また、食事についても後悔している。留学中は料理ができる友達とご飯を食べたり外食やUberを基本にしていたので、料理の腕が全く上がっていない。自炊をしてもステーキを焼くくらいしかしていなかったもので、様々な料理に挑戦すればよかった。アメリカで生活をしていて特に困った事はなかった。ただ便宜上、現地の銀行口座は開設した方が良いと思う。駅や店などで数回、日本のどのクレジットカードも使えなかった。また、現地ではほぼ全ての人がCHASE BANKのアカウントを持っておりオンライン上で各口座に振り込みができるので、割り勘をする場合などでもその場でお金の問題を解決できる。

派遣交換留学中の生活等に関する調査

記入日	2020年6月7日	
派遣先国	アメリカ	
派遣先大学	パデュー大学	
留学先での所属学部	<input type="checkbox"/> 特定の学部・研究科等 学部名：() <input type="checkbox"/> 語学研修 <input checked="" type="checkbox"/> その他 (English Language Program)	
本学での所属	経済学部	現代ビジネス学科
学年	3年次 (留学開始時の学年)	
	4年次 (留学終了時の学年)	
留学期間	留学開始年月 2019年8月 ~ 留学終了年月 2020年3月	
	留学期間 8ヶ月間	

I. 留学先での住居について

1	住居形態は何でしたか？	<input checked="" type="checkbox"/> 学内寮 <input type="checkbox"/> 学外寮 <input type="checkbox"/> ホームステイ <input type="checkbox"/> 民間アパート <input type="checkbox"/> その他 ()
2	部屋の形態	<input checked="" type="checkbox"/> 個室 <input type="checkbox"/> 相部屋 (同居人数)
3	住居形態の詳細を教えてください。	(ルームメートは自分を含め4人で自分以外はアメリカ人。洗面台は一人一つだが、トイレと風呂場は二人で共用。部屋は小さく、備え付けの机とベッドとダンスでほぼいっぱい。)
4	入居時手続き	(日本で寮の予約を済ませていたのだが、到着時にできていないと言われ、その場で書類などを記入し開いている部屋に入れてもらった。)
5	費用 (月額)	(約 80,000)円
6	食費 (月額)	<input checked="" type="checkbox"/> 自炊 <input checked="" type="checkbox"/> 食堂 <input checked="" type="checkbox"/> 外食 <input type="checkbox"/> その他()円
7	支払方法	(4ヶ月分をまとめてクレジットカードで。)
8	住居に附属する設備	<input checked="" type="checkbox"/> 洗面所 <input checked="" type="checkbox"/> トイレ(共同) <input type="checkbox"/> トイレ(個別) <input checked="" type="checkbox"/> シャワー(共同) <input type="checkbox"/> シャワー(個別) <input checked="" type="checkbox"/> 浴槽 <input checked="" type="checkbox"/> 冷暖房 <input checked="" type="checkbox"/> 台所 <input type="checkbox"/> 食堂 <input type="checkbox"/> ジム <input checked="" type="checkbox"/> 洗濯機 <input checked="" type="checkbox"/> 乾燥機 <input checked="" type="checkbox"/> その他 (ミーティングルーム)
9	住居選択方法	<input checked="" type="checkbox"/> 大学に申込 <input type="checkbox"/> 留学先大学の斡旋 <input type="checkbox"/> 友人・知人の紹介 <input type="checkbox"/> 不動産業者・新聞を通じて <input type="checkbox"/> インターネット <input type="checkbox"/> その他()
10	周囲環境	(大学の近くに家電から食品までなんでも売っている大きなスーパーがある。しかし、そのスーパーも駅も徒歩圏内ではないので基本シャトルバスかUberでの移動になる。)
11	アクセス	(バスはおそらくない。シャトルバスは無料だが、Uberは最寄りの駅まで約1500円だったと思う。)
12	留学中の住居に関してアドバイス	(クールタイプの部屋を選択したのだが、常に20度くらいでとても寒かった。部屋毎にエアコンの温度設定ができないので、熟考した上で決めた方がよい。洗濯機と乾燥機は1回1ドルで現地のクレジットカードと連携させたアプリか25セント硬貨でしか支払いができない。)

II. 通信環境について

1	日本キャリアの携帯電話	持参した
2	現地キャリアの携帯電話	購入しなかった
3	現地携帯電話の取得手続きの方法	()
4	自宅のインターネット接続環境	無線 (大学または寮への LAN 接続)
5	大学内インターネット接続環境	無線 (大学または寮への LAN 接続)

III. 留学費用について

諸経費 (1ヶ月の平均)		
1	宿舍費	700 (米ドル)/月
2	食費	500 (米ドル)/月
3	交通費	50 (米ドル)/月
4	通信費	5,000 円/月
5	娯楽費	100 (米ドル)/月
6	図書費	0 (米ドル)/月
7	学用品 (教科書など)	140 (米ドル)/月
8	被服費	150 (米ドル)/月
9	医療費	10 (米ドル)/月
10	雑費・その他	200 (米ドル)/月
上記以外にかかった大きな金額の内訳 (留学準備期間含む)		
11	出願料・宿舍デポジット	25 米ドル/月
12	ビザ申請関連費	30 米ドル/月
13	航空券代 (休暇時旅行費用は除く)	250,000 円/月
14	その他	40,000 円/月
15	留学全日程に要した総額 (概算)	2,000,000 円/合計
お金の持って行き方		
16	<input checked="" type="checkbox"/> 現金 (渡航時: 100,000 円) <input checked="" type="checkbox"/> 国際キャッシュカード (銀行名: 三井住友銀行) <input type="checkbox"/> 海外送金 <input type="checkbox"/> クレジットカードからのキャッシング <input checked="" type="checkbox"/> その他 (日本からの口座振り込み)	
17	現地で銀行口座開設	した
18	口座開設手続き方法・利点・欠点	現地の銀行で担当者に必要書類や個人情報などを伝え、その場で開設した。日本のクレジットカードが使えない時やアプリとの連携、友達間での送金などに使える。
19	お金に関するアドバイス	留学中だけでなく、準備の段階からかなりお金がかかるので予算を多めに見積もっておいた方が良い。他の国に比べて物価も高い。

IV. 保険・医療について

1	海外旅行（留学）保険の種類	C19 プラン (9 か月分で 120,000 円)
2	留学中に病気・けが等をし、通院・薬の処方を受けましたか？	いいえ
3	日本から持参した方が良かったと思う薬などがありますか？理由は何ですか？	実際に使用したのは頭痛薬のみだったが、常備薬は一式持参した。

V. 持ち物について

1	日本から持っていったもの
パソコン、タブレット、携帯、電子辞書、参考書、洋服、コンタクト類、現地で配るお土産など。	
2	現地で購入したもの
教科書、食器類、洋服、ダウンジャケットなど。	
3	(自分は持っていかなかったが) 日本から持っていったら便利だと思ったもの
基本現地で揃える事ができたので特になし。	

VI. 留学先で困ったこと

留学準備の段階で寮の予約をしてデポジットも払っていたのに、入寮できなかった。現地で必要事項の記入などをやり直したので、鍵をもらうまでにかかり時間がかかった。たまに日本のクレジットカードが使えなかった。

VII. その他、後続の学生へのアドバイス

生活をする上で特に困る事はないと思う。寮や授業、履修登録などで分からない事があれば直接担当者にメールをして確認した方が良い。